

へらすべえ

会津若松市ごみ情報紙

令和6年12月号

No.14



特集

**古紙・プラスチック製
容器包装はごみじゃない！
～正しい情報で正しく分別しよう～**

【本号の表紙：会津産杉材キーロ】

皆さんからの要望にお応えするため、会津産材を活用した生ごみ処理容器「キーロ」を地元材木店等と開発中です。



※「キーロ」は、キーロ葉山の登録商標です。



事業者の皆さまへのお願い

さんまるいちまる
目指せ、食べ残しゼロ！～3010運動にご協力ください～

3010運動とは、会食時の最初の30分間と最後の10分間を「食事を楽しむ時間」にすることで、食べ残しゼロを目指す取り組みです。一人ひとりが「もったいない」を心がけ、楽しくおいしく宴会を楽しみましょう。

会食開始まで

参加者の人数や好みに合わせ、適量を注文しよう！

会食開始30分

まずは料理を楽しもう！

会食中

会話をしよう！

お開き10分前

自分の席で料理を楽しみ、食べきろう！

チラシは
こちらから



**宴会の主催者や
幹事の皆さまへ**

会食を行う場合に3010運動を呼びかけてください。



3010運動に
ご協力
ください！

宿泊・飲食業の皆さまへ

会食を予約する際のお声がけや、チラシの配布・掲示にご協力ください。



古紙の分別にご協力ください！

今年の事業系可燃ごみ組成検査では、事業所から出る燃やせるごみの中に、資源化できる古紙が排出時点で約17%も含まれていることが分かりました。事業所の古紙も、古紙買取業者や資源物回収スポットなどを利用することで資源化でき、燃やせるごみを削減することができます。

まずは、職場に古紙分別スペースを置いて、新聞紙、ダンボール、紙パック、雑誌、オフィスペーパー（雑がみ）に分別しましょう。シュレッダー古紙も禁忌品（感熱紙、圧着はがき、カーボン紙など）を除けばリサイクルできます。可燃ごみが減ることで経費節減も期待できます！



新聞紙



オフィスペーパー（雑がみ）



ダンボール



▲古紙分別スペースの例

注意！事業者のごみは町内のごみステーションに出せません

市が収集するのは、家庭での日常生活から出るごみだけです。
事業所から出るごみは、事業所の規模や品目、量に関わらず、収集運搬許可事業者に依頼するなど必ず事業者の責任で処理してください。店舗併用住宅の場合は、生活系ごみと事業系ごみを分け、生活系ごみだけを町内のごみステーションに出してください。



【編集・発行】 会津若松市 市民部 廃棄物対策課

〒965-0858 会津若松市神指町大字南四合字深川西292-2

電話0242-27-3961 FAX0242-29-1618 Eメール gomi@tw.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp

URL: <http://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/>

古紙・プラスチック製容器包装はごみじゃない！ ～正しい情報で正しく分別しよう～

僕がみんなの
疑問に答えるよ！



今年の生活系可燃ごみ組成検査では、家庭から出された燃やせるごみの中に、資源化できる古紙やプラスチック製容器包装が約21%も含まれていることが分かりました。市民の皆さんからは、「プラスチック製容器包装を洗う水資源がもったいない！」「分別してもどうせ燃やしているんでしょ？」「燃やせるものを燃やして何が悪い！」などの意見を頂くこともあります。資源物の分別は無意味なのでしょうか？市民の皆さんから頂いた意見やネットで見られる情報を確かめてみましょう！



その情報、本当に正しいですか？



古紙リサイクルは新品を作るより環境負荷が高い？



▲上は古紙パルプ70%以上配合の再生紙で、下は古紙0%の紙。一般的に、古紙を配合するほど白色度は低くなります。



古紙はリサイクルした方がエコ！

紙の製造段階だけを見れば、古紙を原料にするより天然パルプの方が温室効果ガス発生が少なく済みます。しかし、天然パルプの多くは海外から輸入されるため輸送時に多くの温室効果ガスを発生し、さらに、貴重な森林資源をも消費してしまいます。また、再生紙の場合でも、白さを求めるほど漂白剤を多く使うため温室効果ガスが多く発生します。

環境のためにも、古紙のリサイクルと、再生紙に白さを求め過ぎないことが大切です。

プラスチック製容器包装は、結局、燃やされるから分別は無意味？



▲令和4年度はプラスチック製容器包装を物流の荷役台「パレット」へリサイクルしている事業者に売却されました



分別すれば新たな価値が生まれるよ！

プラスチック製容器包装の分別について、国内では焼却による熱回収などといったサーマルリサイクルが6～7割を占めることから、分別は無意味とする意見があります。

しかし、プラスチック製容器包装は、分別収集することで、化学原料や製品原料へも再資源化されており、天然資源の使用が抑制されています。

例えば、市民の皆さんが分別したプラスチック製容器包装は、令和4年度はプラスチック製品の原料に、令和5年度はコークス炉の化学原料になるなど、新たな価値を生み出しています。

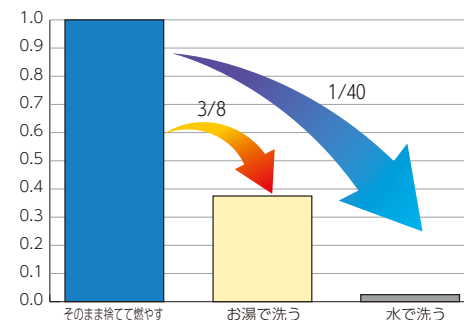
プラスチック製容器包装は、洗うより燃やした方がエコ？



洗う方が環境負荷が低く済みます！

洗うことで水資源を消費しますが、燃やすことに比べれば環境負荷は40分の1で済みます！お風呂の残り水を利用したり、食器洗いと一緒にすることで、更に環境負荷を低くできます。

世界では従来の大量生産、大量消費、大量廃棄型の社会を見直し、資源の消費と環境への負担を抑制する「循環型社会」の構築を進めています。プラスチック製容器包装は洗ってリサイクルすることが、これからのスタンダードです！



▲プラスチック製容器包装を燃やした場合のCO2排出量と洗うことによるCO2排出量の比較(東京大学大学院工学系研究科 中谷 準准教授)

地方はごみ最終処分場に余裕があるから分別しなくてよい？



ごみ最終処分場はあと13年でいっぱいになってしまいます

本市が利用する「沼平第三最終処分場」は、このままごみが減らなければ、あと13年程度で満杯になります。そして、次の候補地は決まっています。

未来を担う子どもたちに美しい会津の地を引き継いでいくためには、今の最終処分場を出来る限り長く使うことが大切です。

そのために、今、ごみの分別・減量に市民・事業者の皆さんの協力が必要です。



▲令和4年7月から埋め立てが開始された沼平第三最終処分場(磐梯町)

「古紙」「プラスチック製容器包装」分別のポイント

「雑がみ」を分別しよう！

お菓子や食品の紙箱、はがき・封筒、トイレットペーパーの芯なども「雑がみ」として分別しましょう(ビニールや金属は除いてください)。

宅配ピザの箱など食べ物や油のついた紙、写真、レシートなどの禁忌品は紙へとリサイクルできないため、燃やせるごみに出してください。禁忌品だけは除いてください！



詳しくは
ホームページを
チェック



このようなものもに出せます！

化粧品類や歯磨き粉のチューブ、日焼け止め、目薬の容器などは、内側が洗えない場合でも、中身を使い切ればプラスチック製容器包装として(※外側の汚れは落とす)出すことができます。

また、プラスチックスプーン等24品目のプラスチック製品もプラスチック製容器包装と一緒に出すことができます。



使い切ってあればOK！

資源化可能な製品
プラスチックは
こちらでチェック！

